

ある中学校の PTA 会長さんの卒業式祝辞を紹介します。
会場全体が、この祝辞を聞き、感動で包まれました。子を
思う親の気持ちに感じるものがあります。

今年度も、目指す学校像を「笑顔・志・本気を合言葉
に、生徒が自分と自分の学校に日本一の誇りを持って卒業
することができる学校をつくる」としました。保護者のみ
なんさんの期待に応えられるよう、教職員は、「笑顔」「チー
ム東」「本気」を合言葉に取り組んでまいります。

祝辞

今日、学生服のボタンをはずし、リボンをとれば皆さん
は〇〇中生ではなくなります。3年前は少し大きめだった
制服も、見上げていたご両親も先生も小さくなっているは
ずです。君たちは心も体も成長しました。時には君たちの
小さな胸にとげがささり、どうして、何でと、誰かに問い
かけても、答えは見つからず、「しょうがないんだ」と自分
に言い聞かせて、作り笑顔で過ごした日々もあったことで
しょう。私たち大人は、もがいている君たちの遠くのほう

で、「もうちょっと頑張れ、我慢して乗り越えて」としか言えなかった。でもその声も思春期という風に飛ばされて届かなくなったとき時、君達は心を閉ざし始め、だんだん無口になっていった。たぶん一番わかって欲しいことは言葉にできなかった。私たちはそれを上手に聞いてあげられず、時に突き放してしまうこともあった。許して下さいね。でもどうか知っておいて下さい。

みなさんを育て、教え導き、見守っている人は、自分のことでは泣けなくても、君たちのことでは心から泣けるんです。君たちのことでは、いくらでもがんばれるんです。雨が降りだせば、傘は持っていったのか。宿題のワークブックは出したのか。急に無口になれば、何かあったのか。私たちが口うるさく言うのは、君たちを支え守りたいから、ただそれだけ。

先生方は、君達が迷いながら過ごした中学校生活を導いて下さいました。

地域の方は、いつも見守って下さいました。

後輩の皆さんは、君たちの背中を見て走ってきました。

目には見えなくても、いつも誰かがあなたのことを思っているんです。世界でたった一人の大切な人だから、君達のありがとうには力があります。君達のその一言で、友達も、先生も、家族も、まわりのみんな頑張れるんです。

「ありがとう」が人と人をつなぎます。

そして、物や機械の中ではなく、人の中で笑うことができるんです。

君達は生まれてから今日まで、一生懸命生きてきました。苦しみを一つ一つ乗り越え、仲間と励ましあいながら本当に頑張りました。そして、私たちに成長を見守る喜びをくれました。

君達がいたから、私たちも笑えました、泣けました。

ありがとう。そして太陽のような笑顔をくれました。
ありがとう。

卒業生のみなさん、私たちは君達が好きです。だからこれから新しい道を歩き出す君達を、いつでもずっと信じて応援します。人は心から感謝するとき、自然と頭が下がります。どうか皆さんも、どんな小さなことでもいいから、

自然に頭が下がり、そして、下げてもらえるような、優しい人になって下さい。 卒業おめでとう。

そして頑張ってくれてありがとう。

卒業生〇〇〇名の立派な成長に感謝してお祝いの言葉と
します。 〇〇中学校 PTA 会長